



文化庁

日本全国能楽キャラバン！In茨城

坂東市コロナ終息祈念「将門」公演

舞囃子

桜川

梅若万三郎

狂言

佐渡狐

野村又三郎

新作能

将門

加藤 眞悟



藝徒三宅興謹
拜嘉

七人の影武者 提供：神田神社

令和三年九月二十六(日)

午後二時開演 (午後一時十五分開場)

於 坂東市民音楽ホール

(坂東市岩井五〇八二番地)

全席指定 三九〇席限定 入場料 三〇〇〇円



撮影：前島写真店

[チケットお申込先]

公益財団法人梅若研能会
☎03-3466-3041

昌門会 090-2147-6149(山田外志枝)

カンフェティ

☎0120-240-540 (平日10:00~18:00)

<http://www.confetti-web.com/umeken>



主催：公益社団法人能楽協会、公益財団法人梅若研能会
後援：坂東市、坂東市教育委員会、守谷市、常総市(申請中)、神田神社
昌門会

日本全国能楽キャラバン! IN茨城
坂東市コロナ終息祈念「将門」公演

令和三年九月二十六(日) 午後二時開演

於 坂東市民音楽ホール ベルフォーレ

(坂東市岩井五〇八二番地)

「文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」

御挨拶

坂東市市長 木村 敏文
神田神社宮司 清水 祥彦
下掛宝生流能楽師 梅村 昌功

解説

大東文化大学名誉教授 三上 紀史
平将門の実像と新作能「将門」について

(二時半頃)

仕舞 小袖曾我

梅若 志長
梅若 久紀

清 経

観世 喜正

羽 衣

梅若 万佐晴

舞囃子 桜川

シテ 梅若 万三郎
笛 藤田 次郎
小鼓 幸 信吾
大鼓 大倉正之助
地謡 中村 政裕
梅若 久紀
梅若 紀長
伊藤 嘉章
八田 達弥

狂言 佐渡狐

シテ(奏) 者 野村又三郎
アド(佐渡国ノ百姓) 奥津健一郎
アド(越後国ノ百姓) 野村信朗
後見 奥津健太郎

休憩 二十分

(三時四十五分頃)

新作能 将門

前シテ(御厨ノ別当) 加藤 眞悟
後シテ(平将門ノ霊) 長谷川晴彦
ツレ(如藏尼ノ霊) 梅村 昌功
ワキ(旅 僧) 奥津健太郎
間(所ノ者) 藤田 次郎
小鼓 幸 信吾
大鼓 大倉正之助
大鼓 金春惣右衛門

後見 梅若 万三郎
梅若 雅一
梅若 泰志

梅若 紀佳
八田 達弥
青木 健一
青木 一郎
古室 知也
観世 喜正
遠田 修
梅若 紀長

(五時十五分 終了予定)

日本全国 能楽キャラバン! 『将門』 演目解説

舞囃子 【桜川 (さくらがわ)】

九州日向国に住む桜子と母。母のもとに商人が手紙と母の困窮を見かねた桜子が自ら身売りした代金を届けにきた。悲しみから狂女となって桜子を探す旅にでた母(シテ)。三年が経ち、常陸国の桜川にやってきた狂女。我が子と同じ名の桜川で水面に散りかかる花びらを網ですくい、故郷のご神木から桜子と名づけた由来を語り、舞と古歌を詠じ、求めるものは花ではなく桜子だと嘆く。

狂言 【佐渡狐 (さどきつね)】

年貢を納めに京の都に上がる越後国の百姓、同じく上京する佐渡国の百姓と道連れになる。道々国自慢をする中で佐渡に狐がいるいないで口論になり、互いに腰の刀をかけた争いに発展する。年貢を納める領主の館の奏者(役人)に判定を頼むことで双方納得し、二人は裁断の時を迎えるのだが…

新作能 【将門 (まさかど)】

藤原純友の子孫である都方の僧は、幼きときより聞き及んでいた平将門の痕跡を辿ろうと、東山道園原を経て、猿島の常羽御厨(いくはのみまや)にやって来る。そこで白馬に乗った御厨の別当と名乗る老人と出会う。老人は、平将門を祀る国王神社へ案内し、将門が一族の不和を納め、関八州の新皇についての謂れを語り、自分が将門の霊であることをほめかし社殿へ入って行った。不審に思った僧は、神社に使える者に更なる謂れを尋ね、先ほどの老人は、疑いもなく将門の霊であるとの思いにいたり、夜もすがら読経する。将門の娘(如藏尼)の霊が、父への愛惜を述べ、長年にわたり吊ってきた姿を現すと、僧もそれに合わせて合掌する。やがて将門が、死後の汚名が晴れたことを喜び如藏尼と歡喜の舞を舞う。人の争いの空しさを訴え、平和を求めてこの地(岩井)の守護を誓い、二人の姿は社殿の奥へと消えていった。前半の新皇になる経緯、後半の将門公と如藏尼との心通わせる相舞等が見所です。 ※2013年に坂東市で平将門公生誕1111年記念事業として作られた新作能。この度は、文化庁の「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の一環である公益社団法人能楽協会・公益財団法人梅若研能会主催の「日本全国能楽キャラバン! IN茨城坂東市コロナ終息祈念「将門」公演」として8年ぶりに坂東市での再演となります。 原作：小林保治 監修：梅若万三郎

全席指定 三九〇席 限定
入場料 三〇〇〇円

